

“日清食品カップ” 第35回全国小学生陸上競技交流大会

競技方法・表彰

1. 競技に際してはオールウェザー用のスパイク又はシューズを使用すること。
2. トラック競技
 - ①スタートの合図はイングリッシュコールとする。
 - ②スタートはクラウチングスタートを原則とする。スターティングブロックは使用しなくても良い。同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とし、オープン参加として走る。
 - ③リレー競走（男女混合4 x 100mR）は男女各2名から編成され、走順は自由とする。（補欠についても男女各1名ずつとする）
 - ④リレー競走におけるテイク・オーバー・ゾーンは基準点から手前20m後ろ10mの合計30mとする。テイク・オーバー・ゾーン外から走り出してはならず、ゾーンの中でスタートしなければならない。
 - ⑤リレー競走に出場する選手のユニフォームは原則としてチームの全選手とも同一デザインとする。ただし、男女による型の違いは認めるものとする。
 - ⑥リレー競走のエントリー者のうち、リレー競走に出場しない選手は友好レース（100m）に出場できる。
 - ⑦80mハードルは、ハードルの高さ70cm、ハードル間7m、ハードルの台数9台、スタートから第1ハードルまで13m、最終ハードルからフィニッシュまで11mとする。
 - ⑧100m（5年・6年）、男女混合4 x 100mRでは、予選をタイムレースで行い、A決勝を予選上位8番までの選手・チーム、B決勝を予選9番～16番までの選手・チーム、C決勝を予選17番～24番までの選手・チームとする。
3. フィールド競技
 - ①走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとする。
 - ②走高跳は、自分が申告した高さから試技を開始し、2回続けて失敗した時点で終了とする。
 - ③走幅跳、ジャベリックボール投は全員2回の試技とする。
 - ④ジャベリックボール投の助走距離は15m以内とする。
 - ⑤ジャベリックボール投の試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることとする。
*羽だけを持って投げることは禁止する。
4. コンバインド競技
 - ①本大会におけるコンバインド競技は以下の順で行う。
コンバインドA：80mハードル、走高跳
コンバインドB：走幅跳、ジャベリックボール投
 - ②各種目の得点は、『JAAF 小学生混成競技得点表（2019）』による。
※『JAAF 小学生混成競技得点表（2019）』は日本陸上競技連盟ホームページにて公開
 - ③80mハードルと走幅跳における風速は得点・順位に影響しない。
 - ④100点以下の記録は、すべて100点とする。

- ⑤スタートまたは試技を行ない、参考記録（80mハードルにおけるオープン参加時の記録）、記録無し、失格の場合は、50点（参加点）とする。
- ⑥スタートまたは試技を行わない場合は、棄権とし、0点とする。
- ⑦最初の種目で棄権した競技者は、2種目目には出場できない。
- ⑧2種目の合計得点で順位を決定する。合計得点が高点の場合は、同順位とする。

※都道府県陸上競技協会による選考会においては、各都道府県にて定めた競技方法とする。

5. 表彰

- ①各種目（友好100mは除く）の8位までの入賞者には賞状、副賞、9位～24位までの入賞者には賞状、参加者全員に参加記念品・記録証を授与する。

※上記を含む、詳細については、【監督・競技者注意事項】として後日提示します。